

本箱の旅先マップ

旅のルール



テーマごとの本箱が
各旅先にあります



本箱はしばらく
旅先に滞在します



期限を迎えると次の
旅先へと移動します



順番に県内をぐるりと
巡って旅をしていきます



旅をするごとに読んだ人の
感想が増えています



そうして本をきっかけに
人と人が繋がっていきます

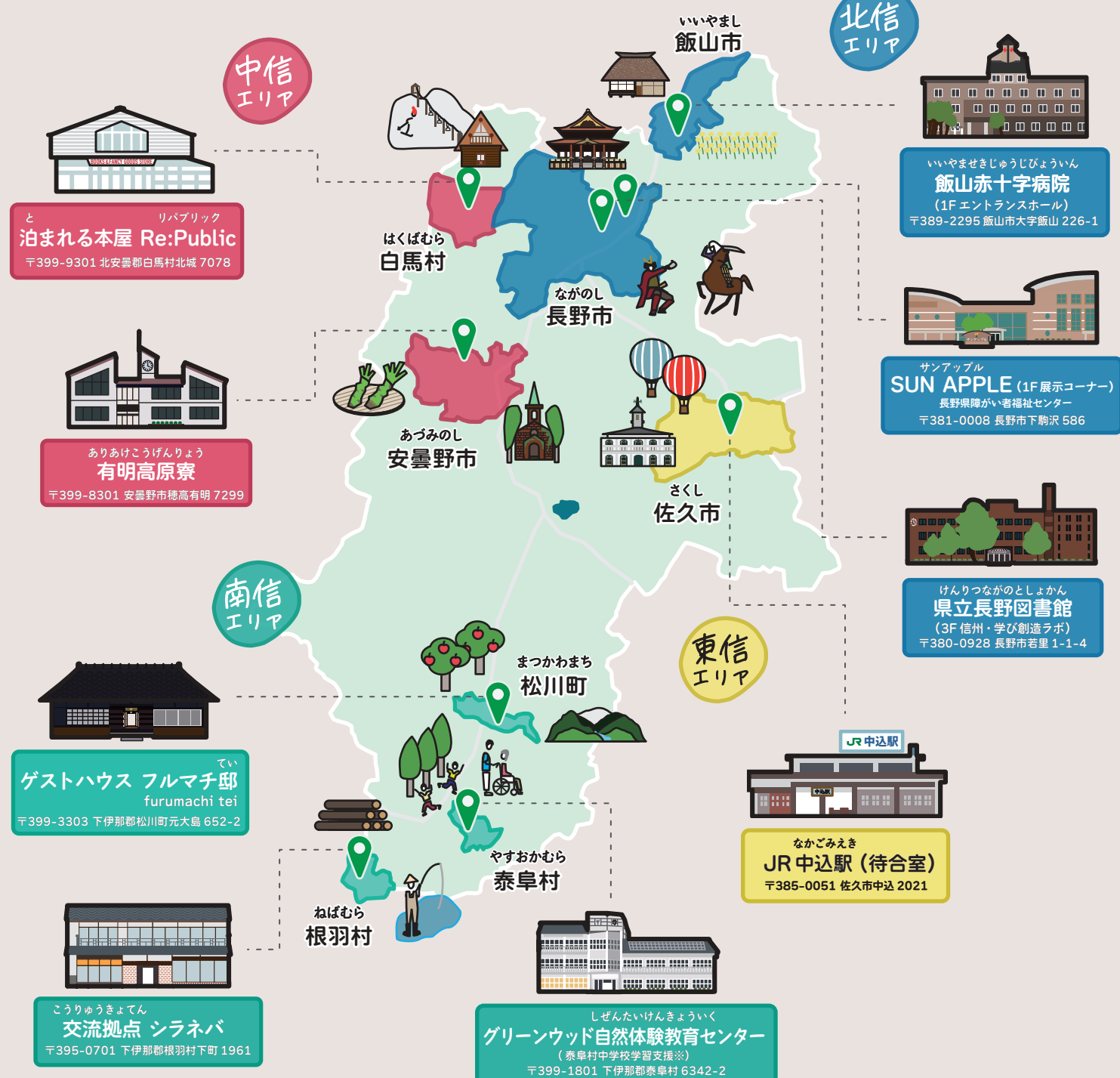


スケジュールは
こちらから



「旅する本箱」第2回
ウェブサイト

最新のスケジュールは
ウェブサイトか
直接旅先で聞いてみてね!



しぜんたいけんきょういく
グリーンウッド自然体験教育センター
(泰阜村中学校学習支援※)
〒399-1801 下伊那郡泰阜村 6342-2

※「旅する本箱」は泰阜村中学校に設置されています。



本箱のテーマ

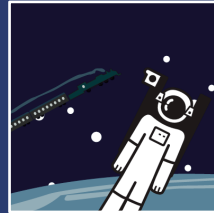


テーマ別 本のリスト

各テーマ20~30冊の
本があるよ!



懐かしい未来



『クララとお日さま』

カズオ・イングロ / 著 土屋政雄 / 訳 早川書房
人工的に作られた友達 (AF) クララの純粋な心の美しさと、
人間の身勝手さとの対比に考えさせられる作品。小学校高学
年からおすすめです。いま世間を騒がせている AI とは、一
体何のために、誰のために発展していくのでしょうか? これ
からの未来を生きていく当事者の子どもたちにこそ読んで欲
しい物語です。読後感は美しくも切ないです。(おおさん)

その他『鋼鉄都市』、『銀河鉄道999』、『野生のロボット』など

もし1週間休みがあったら



『ツリーハウスがほしいなら』

カーター・ヒギンズ / 文 エミリー・ヒューズ / 絵
千葉茂樹 / 訳 ブロンズ新社
木の上に家を作る。空想するだけで、ソクソクします。お
気に入りのものに囲まれた、自分だけの天空の城。窓から
見える景色はどんなだろう? 時々、小動物や鳥が窓から
遊びに来てくれたら嬉しいかも。あなたなら、どんなツリー
ハウスにする? (izumimi)

その他『ぼくはいつだってどこにいるんだ』、『インドへ』など

今日何食べよう

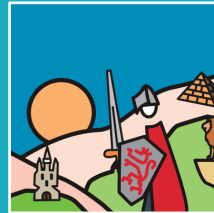


『世界の郷土料理事典』

青木ゆり子 / 著 誠文堂新光社
「今日は日曜だし何かここにあるものから作ってみるか」と
思いページを開くとあっという間に1時間ぐらい経っていて
結局何をつくるか全く決まらない。でも、全く行ったことも
なければ生行くこともないようなモーリタニアの郷土料理
が今は不思議と我が家の定番料理になっています。(jun)

その他『世界の台所探検』、『ぐりとぐら』、『あげる』など

あなたも行きたくなる



『民俗学の旅』

宮本常一 / 著 講談社
旅に出て、スマホの画面だけを眺めている君 / 旅
に出ることは目的地に行くことではない /
宮本善十郎が息子に語った十か条が所収されたこ
の本は、どこでもドアでは味わえない「旅」を語っ
てくれる。(ぶらた・森)

その他『旅の絵本』、『ナルニア国物語シリーズ』、『漂流物』など

森と泉の国からの贈りもの



『魔女の宅急便』

角野栄子 / 作 林明子 / 画 福音館書店
スタジオジブリの映画でおなじみ『魔女の宅急便』の原作。
13歳の魔女キキは「ひとり立ち」するために相棒の黒猫
ジジと、はじめての街にやってきました。そこで始めた仕
事は、ほうきで空を飛んで荷物を届ける宅急便屋さん。失
敗したりして落ち込みながらも、だんだん街の人に受け入
れられ、やりがいや居場所やを見つけていく物語。

その他『おひさまとえんぴつ』、『ハンチバック』、『復活の日』など

世界の秘密を冒険しよう



『エルマーのぼうけん』

ルース・スタイルス・ガネット / 作 わたなべしげお / 訳 ルース・
クリスマン・ガネット / 絵 福音館書店
あなたなら、冒険にでかけるとき、何を持って行きますか?
どうぶつ島に囚われているりゅうの子どもを助けようと、
どうぶつ島にでかけたエルマーは、輪ゴム、チューインガム、
歯ブラシなどで危機を乗り切っています。(izumimi)

その他『地下世界をめぐる冒険 間に隠された人類史』など

運命を変えた一冊



『剣客商売 1』

池波正太郎 / 著 新潮文庫刊
時代物として有名な本ですが、物語内で登場する食べ物か
どれもおもしろい。なんでこんな単純な表現なのに
匂いや盛り付けまで浮かんでくるのか、いつも不思議にな
ります。池波正太郎自身もかなりの美食家だったそうなの
で、そんな視点でも読んでみてほしい本です。(メガネ)

その他『漫画 君たちはどう生きるか』、『はだしのゲン』など

自分らしく生きる



『「よく見る人」と「よく聴く人」 共生のための
コミュニケーション手法』

広瀬浩二郎 / 著 相良啓子 / 著 岩波書店
目が見えない研究者と、耳が聞こえない研究者が、
生い立ちや進路選択、人生について語る本です。
世界とつながること、わかりあうことについて見つ
めなおす一冊です。

その他『わたしのくらし世界のくらし』、『ぼくの家はかえて荘』など

からだがよろこぶ時間



『うかたまBOOKS 野草とハーブのレシピ』

農文協 / 編 農山漁村文化協会 (農文協)
よもぎ、たんぽぽ、どくだみ、ハーブ……身近な
草の活用レシピ満載の本です。眺めるだけでもよ
し、お散歩のお供にもよし。作ってみたことがあ
る方、ぜひ教えてください!

その他『塩分早わかり 第5版』、『はたらく細胞 01』など